

中村信彦市議会レポート

第66号



今年3月24日に竣工した市立彩都西コミュニティーセンター

桜通りの桜も満開となり、うらかな季節となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私も今年二月の臨時市議会で、市議会議長に就任し、以来議長という大きな責任のある立場での議員活動に取り組んでいます。

さて、茨木市議会では、この間、議会改革の取り組みとして、平成二十三年九月に開催した議会改革・活性化検討委員会以降、議会基本条例検討部会を九回、議会広報等検討部会を一〇回開催し、活発な意見交換を行ってきました。

そして、さる三月十九日の検討委員会において、両検討部会から報告があり、茨木市議会議会基本条例素案と、開かれた議会を目指して議会ホームページや市議会だよりの充実などについて決定いたしました。

主な条例素案の概要については、次回の広報「いばらき」五月号に掲載される予定です。また、議会ホームページでもその内容をご覧になります。

この議会基本条例素案については、今後、市民の皆さんからご意見を聞く場を設けたいと考えています。

これかも全力で取り組んで参りますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

茨木市議会議長 中村信彦



3月市議会報告

三月市議会は、三月五日から七日までの三日間本会議で二十九件の議案について質疑し、その後、各常任委員会で更に慎重に審査して、十九日の本会議ですべての議案を原案どおり可決しました。新年度当初予算については四月に市長選挙が行われることから骨格予算として編成され総額で一三九三億円となりました。

その内一般会計予算は七四〇億八千万円で対前年度比でマイナス一〇・五%となりました。

野村市長としては、最後の予算となりましたが、野村市長は二期八年の間、税収が落ち込むなど、厳しい財政状況の中で、保育所民営化、指定管理制度の導入などに取り組みできました。

自転車の事故をなくそう

四月一日 茨木交通安全大会が茨木マイカルで開かれました。春の全国交通安全運動として全国各地で取り組まれています。近年では、特に自転車の関係する事故が増えており自転車マナーの向上が大きな課題となっています。会場では式典の後、消防音楽隊の演奏が披露され、会場に集まった多くの市民がその演奏に聴き入っていました。



西河原広域防災公園と西河原分署が完成



三月二十一日 西河原公園の拡張工事が終わり、新たに広域避難地西河原公園となりました。それに併せて消防署西河原分署が公園に隣接して移転新築されました。近い将来発生が懸念される東南海・南海地震などの大規模災害に対応可能な「高度救急隊」を配置し、四月一日から運用が始まりました。

「高度救急隊」は愛称：「スーパーレスキューシールド」と名付けられました。「シールド」とは盾（たて）を意味し、茨木市民を災害から守る盾になり、安全・安心を確保するメッセージが込められています。